

(9) 地域の変ほうをどう受けとめ、どんな対策が必要と思われるか。

(上段人員、下段%)

対 策	小 校			中 校			高 校		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C
ア 都市化にともなり個性啓発	11	9	11	3	5	6	5	4	3
	6.1	5.0	6.4	2.9	5.2	6.8	5.5	4.4	3.4
イ 過疎現象にともなり広域化	31	28	26	18	18	14	3	3	2
	17.1	15.6	15.0	17.6	18.8	15.9	3.3	3.3	2.2
ウ 過密化にともなり施設設備	7	7	6	2	1	1		2	
	3.9	3.9	3.5	2.0	1.0	1.1		2.2	
エ 変ほうに必ずる生徒指導	57	65	55	48	44	45	48	45	46
	31.5	36.1	31.8	47.1	45.8	51.1	52.7	49.5	51.7
オ 交通安全教育	69	63	72	29	25	18	33	33	32
	38.1	35.0	41.6	28.4	26.0	20.5	36.3	36.3	36.0
カ 公害防止	2	4	1	2	1	2	1	2	4
	1.1	2.2	0.6	2.0	1.0	2.3	1.1	2.2	4.5
キ その他	4	4	2		2	2	1	2	2
	2.2	2.2	1.2		2.1	2.3	1.1	2.2	2.2

地域の変ほうをどう受けとめているかについて、比率の高い順に 2、3 をあげると次のようになる。

小学校

交通安全教育 — 変ほうに必ずる生徒指導 —
過疎化現象にともなり広域化

中学校

変ほうに必ずる生徒指導 — 交通安全教育 —
過疎化現象にともなり広域化

高等学校

変ほうに必ずる生徒指導 — 交通安全教育
その対策についての意見をまとめてみると次のようである。

小学校

ア 社会のきまりに関心をもち、みずから参加し、相互に協力し、秩序ある行動がとれるような指導をする。

イ 社会の事象や現象をすなおにみることができ、よく判断して行動できる生徒指導をする。

ウ 過疎化現象に対して、日常生活の意識を高揚するとともに、近接学校との連絡提携を強化する。

エ 交通安全指導の施設設備の充実と対策を強化し、間接的、直接的な経験を豊かにする。

オ 小規模少人数学級校の本質的な授業のため、組織的な教授改善につとめる。

カ 学校統合の前提条件として、交通路の整備とスクールバスの確保が考えられる。

中学校

ア 過疎現象にともなり当面の対策として、組織的な学習指導の改善を検討する。

イ 広域長期計画による学校配置の再検討をする。

ウ 生活の多様化にともなり個性は握のあり方として、組織的な協力体制をとるべきである。

エ 家庭、学校における対話の機会を多くするよう生徒指導について、具体的な共通理解をはかるようにする。

オ 季節労働家庭の実態は握により、実情に即した学校運営をする。

高等学校

ア 時代に即応し、将来に備えた生徒指導のため、情報収集を強化し、組織的な検討を行なうようにする。

イ 都市化にともなり単調な生活を検討し、個性啓発の指導体制をとる。

ウ 地域における要求活動に対処できるよう、き